

# 熊本市立託麻原小学校 平成23年度校内研修

## 1 基本方針

- (1) 研究主題に基づく校内研究と、教師としての識見や力量を高めるための職員研修を通して研修を深めていく。
- (2) 校内研究は、21世紀を生きる子どもに、自ら学ぶ意欲や社会の変化に主体的に対応できる能力を育成するための授業の創造にある。「学力向上」「分かる授業」というキーワードから、本校の今までの資産（ICTの効果的な活用、PISA型読解力、熊本モデル、言語活動の充実など）を生かしながら、日々の研鑽を深め、授業づくりに努める。
- (3) 職員研修は、人権教育および特別支援教育の希望をふまえて研修を計画する。
- (4) 原則として、第1・2・4月曜日を校内研究の時間とする。講師を招聘する場合、講師の都合により、月曜日以外の日に実施することがある。
- (5) 全ての学年で講師を招聘し研究授業を行う。(大研7回)そして、成果や課題を明らかにし、それを基に授業改善を図ったり、主題の捉え方、研究の全体構想、研究の進め方等についての深化を図り、修正を加えたりする。
- (6) 学年部ごとの研究を充実させる。(大研の前に事前研を行う。さらに研究主題に基づいた実証授業、いわゆる大研が、その場限りで終わることなく日常の教育活動に反映させることで、授業改善につなげていく。)
- (7) 少人数、TT、専科も研究授業及び授業研究会（小研）を行う。
- (8) 長期休業中も研修の機会を持つ。

## 2 校内研究について

### (1) 研究の方向性（研究主題設定の理由）

新しい学習指導要領では、児童に生きる力をはぐくむことを目指し、基礎的な知識および技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力をはぐくむとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努めなければならないと示してある。

そこで、その趣旨を生かした教育活動を展開するため、主体的に学習に取り組み、自らの意見を表現しながら課題を解決していく児童の育成のあり方を追究していく。

### (2) 研究主題および副題

主体的に学習に取り組み、自らの意見を表現しながら課題を解決していく児童の育成  
～言語活動と授業改善の取り組み

### (3) 研究教科            算数

### (4) 研究仮設

ア 算数的活動を通して、言語活動と授業改善に取り組めば、児童が主体的に学習に取り組むことができるだろう。

イ 算数的活動を通して、言語活動と授業改善に取り組めば、児童が自らの意見を表現しながら課題を解決することができるだろう。

(5) 仮設検証のための具体的方策

仮設アについて

- ① 算数の授業を児童の活動を中心した主体的なものとするための工夫。
- ② 算数の授業を児童にとって楽しく分かりやすいものとするための工夫。
- ③ 算数の授業を児童にとって感動のあるものとするための工夫。

仮設イについて

- ① 言語活動としての書く活動、説明し合う活動、練り上げる活動、振り返る活動を充実させるための工夫。
- ② 児童が教え合い、認め合い、高め合い、ともに伸びていく学級集団づくりの工夫。
- ③ 児童が、伸び伸びと自分の考えを表現できるための個に応じた支援の工夫。

(6) 主な研究の取り組み

【1学期】

- ・ 研究計画立案、決定（研究の方向性、研究主題、副題、研究の中心となる教科、研究仮説、仮設検証のための具体的方策、研究の全体構想、研究組織、年間計画）
- ・ 実態調査の実施と分析                      ・ 模擬授業および理論研修

【夏季休業中】

- ・ 派遣研修                      ・ 教材紹介                      ・ 授業に効果的に生かせる ICT 活用研修

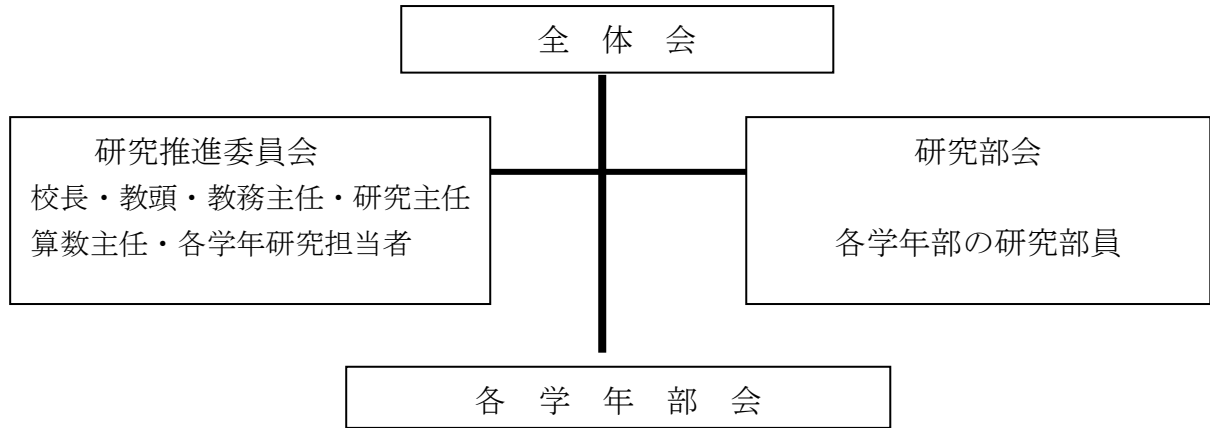
【2学期】

- ・ 研究主題に基づき、全学年で大研を行う。講師の先生の助言を基に、研究授業の成果や課題を日常の教育活動に反映させ授業改善につなげる。なお、研究授業には算数的活動を取り入れる。
- ・ 研究授業を通して明らかになった成果と課題を整理し、主題の捉え方、研究の全体構想、研究の進め方等についての深化を図り、修正を加える。
- ・ 中間の研究まとめと学年部ごとの研究経過報告会の実施
- ・ 模擬授業および理論研修
- ・ 派遣研修
- ・

【3学期】

- ・ 研究主題に基づき、自主研を行う。自主研の成果や課題を日常の教育活動に反映させ授業改善につなげる。なお、自主研には算数的活動を取り入れる。
- ・ 自主研を通して明らかになった成果と課題を整理し、主題の捉え方、研究の全体構想、研究の進め方等についての深化を図り、修正を加える。
- ・ 派遣研修                      ・ 教材紹介
- ・ 本年度の成果と課題を明らかにし、研究主題を確認、確定し、次年度の研究の進め方について検討する。

(7) 研究組織



(8) 年間計画

月	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
4		12日(火) ABCD部会		25日(月) 職員会議	
5	2日(月) 本年度の研究の 方向性①	9日(月) 本年度の研究の方 向性②(授業者決定)	16日(月) 教科主任会	23日(月) 職員会議	30日(月) 運動会の振替 休業日
6	6日(月) 大研① ひまわり学級	13日(月) 人権講話 聾学校(岩寄先生)	20日(月) 職員会議	27日(月) 全体研修および 学年別研修	
7	6日(水) 模擬授業および 講話 (清水小 藤本先生)	11日(月) 全体研修および学 年別研修(研究の 方向性の再確認)	20日(水) 職員会議		
8	教材紹介① (桜木小 山内先生) (春竹小 福井先生)	8日(月) ICT活用研修 (ヘルプデスク荒金先生)	学年別研修		
9	5日(月) 地区別人権教育研 修会発表資料検討	12日(月) 全体研修および学 年別研修(研究の方向 性の見直し、修正)	14日(水) 特別支援講話 わっふる(田邊先生)	20日(火) 職員会議	下旬 大研②(6年) 講師(桜木小 福 原教頭先生)
10	上旬 模擬授業および講話 (龍田小 緒方先 生)	10日(月) 祝日	17日(月) 大研③(4年) 講師(山本小 管 教頭先生)	24日(月) 職員会議	31日(月) 大研④(1年) 講師(池上小 松井校長先生)
11	7日(月) 大研⑤(3年) 講師(碩台小 山下 校長先生)	14日(月) 大研⑥(5年) 講師(砂取小 荒尾 校長先生)	21日(月) 6年生修学旅行	25日(金) 全体研修および学年別 研修(12月12日の研 修について及び準備)	28日(月) 職員会議

12	5日(月) 大研⑦(2年) 講師(春竹小 鶴崎 教頭先生)	12日(月) 学年別研究経過報 告会(報告6名)	19日(月) 全体研修および学年 別研修(研究の方向 性の見直し、修正)	22日(木) 職員会議	
1			16日(月) 全体研修および学年別 研修(今後のスケジ ュール)	23日(月) 職員会議	31日(火) 教材紹介② 講師(健軍小 黒 川先生)
2	6日(月) 全体研修および学年別 研修	13日(月) 派遣研修復講	20日(月) 職員会議	27日(月) 1年間の研究のま とめ(成果と課題)	
3	5日(月) 研究主題の確認、確定、 次年度研究について (研究主任)	12日(月) 推進委員会(健康・安全、 人権、生徒指導、研究)		23日(金) 職員会議	

### (9) 講師の先生

月	内容	講師の先生	月	内容	講師の先生
6/13	人権講話	聾学校 岩寄先生	10/17	大研③ 4年	山本小 管教頭先生
7/6	模擬授業および講話	清水小 藤本先生	10/31	大研④ 1年	池上小 杉井校長先生
8	教材紹介①	桜木 山内先生 春竹 福井先生	11/7	大研⑤ 3年	碩台小 山下校長先生
8/8	ICT活用研修	ヘルプデスク 荒金先生	11/14	大研⑥ 5年	砂取小 荒尾校長先生
9/14	特別支援講話	ワッフル 田邊先生	12/5	大研⑦ 2年	春竹小 鶴崎教頭先生
9	大研② 6年	桜木小 福原教頭先生	1/31	教材紹介②	健軍小 黒川先生
10	模擬授業および講話	龍田小 緒方先生			

### (10) 大研について

期日	学年	授業者	単元	講師の先生
6月6日(月)	ひまわり教室			
9月下旬	6年			桜木小 福原教頭先生
10月17日(月)	4年			山本小 管教頭先生
10月31日(月)	1年			池上小 杉井校長先生
11月7日(月)	3年			碩台小 山下校長先生
11月14日(月)	5年			砂取小 荒尾校長先生
12月5日(月)	2年			春竹小 鶴崎教頭先生